

	会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	会場F <<English session>>
9:15~12:10	<Covid-19> 座長: 山崎 尚志(神戸大学)	<ファンドマネジメント> 座長: 白須 洋子(青山学院大学)	<アセットプライシング> 座長: 内山 朋規(東京都立大学)	<コーポレートファイナンスとデリバティブ> 座長: 佐藤 祐己(慶應義塾大学)	<マーケットマイクロストラクチャー> 座長: 太田 亘(大阪大学)	<Financial Markets> Chair: Yoshiaki Ogura [小倉 義明](Waseda University)
9:15~9:55	Can Cash Be a Ventilator for Firms Suffering from COVID-19? Evidence from Stock Market in Japan 報告者: 青野 幸平(立命館大学) 共著者: 堀 敬一(関西学院大学) 討論者: 宮川 大介(一橋大学)	How the BOJ Has Affected Domestic Equity Markets by its ETF Purchasing Program 報告者: 俊野 雅司(成蹊大学) 討論者: 竹原 均(早稲田大学)	Household Risk and UK Financial Markets 報告者: 和田 賢治(慶應義塾大学) 共著者: Parantap Basu(Durham University) 討論者: 祝迫 得夫(一橋大学)	連続時間モデルに基づく業績条件付きストック・オプションの価値評価 報告者: 大西 匡光(大阪大学) 共著者: 松本 敏幸(大阪大学)、田中 寧々(EY 新日本有限責任監査法人) 討論者: 吉羽 要直(東京都立大学)	Optimal Execution of Pair Trading with Generalized Price Impacts 報告者: 下清水 慎(大阪大学) 共著者: 大西 匡光(大阪大学) 討論者: 山本 零(慶應義塾大学)	A New Approach to Estimating Loss-Given-Default Distribution Speaker: Rusudan Kevkhishvili (Kyoto University) Co-author: Masahiko Egami [江上 雅彦] (Kyoto University) Discussant: Hidetoshi Nakagawa [中川 秀敏] (Hitotsubashi University)
9:55~10:35	財務柔軟性の価値 —コロナ禍での株価反応— 報告者: 佐々木 寿記(東洋大学) 共著者: 鈴木 健嗣・花枝 英樹(一橋大学) 討論者: 中岡 孝剛(近畿大学)	Impact of New Regulatory Policy in Japanese Mutual Fund Markets 報告者: 北村 智紀(東北学院大学) 共著者: 大森 孝造(大阪経済大学) 討論者: 後藤 晋吾(University of Rhode Island)	Variance Premium and Smooth Ambiguity Preferences with Jump-Diffusion Process 報告者: 鈴木 雅貴(一橋大学) 討論者: 内山 朋規(東京都立大学)	Time-to-Build and Capacity Expansion 報告者: Jeon Haejun(東京理科大学) 討論者: 後藤 允(北海道大学)	Systemic Risk Indicators and High-Frequency Technical Analysis 報告者: 山本 竜市(早稲田大学) 討論者: 山田 昌弘(大阪大学)	Product Market Competition, Venture Capital and the Success of Entrepreneurial Firms Speaker: My Nguyen (RMIT University) Co-author: Douglas Cumming (Florida Atlantic University), Giang Nguyen (Waseda University) Discussant: Cheung Ming Yan William (Waseda University)
休憩 Break						
10:50~11:30	Risk Contagion of COVID-19 on Japanese Stock Market: A Network Approach 報告者: 菅野 正泰(日本大学) 討論者: 山崎 尚志(神戸大学)	公的年金ポートフォリオと給付の関係についての一考察 —GPIF 基本ポートフォリオの変更は何をもたらしたのか— 報告者: 臼杵 政治(名古屋市立大学) 討論者: 本多 俊毅(一橋大学)	Does Firm-Level Productivity Predict Stock Returns? 報告者: 広木 隆(マネックス証券/神戸大学) 共著者: 岩壺 健太郎(神戸大学)、Clinton Watkins(国際教養大学) 討論者: 滝澤 美帆(学習院大学)	Determinants of US Dollar Bond Issuances by Non-US Banks 報告者: 本間 靖健(一橋大学) 共著者: 鈴木 健嗣(一橋大学) 討論者: 長田 健(埼玉大学)	呼値変更: 市場間競争と流動性供給者へのインパクト 報告者: 宇野 淳(早稲田大学) 共著者: 柴田 舞(高千穂大学)、戸辺 玲子(二松学舎大学) 討論者: 太田 亘(大阪大学)	Detached Attachment between ETFs and Their Underlying Indices: A Long Memory Perspective Speaker: Kunal Saha (IFMR/University of Madras) Co-author: Vinodh Madhavan (Ahmedabad University), G. R. Chandrashekar (Krea University) Discussant: Hirokuni Iiboshi [飯星 博邦](Tokyo Metropolitan University)
11:30~12:10	マクロ環境と国債管理リスク —コロナショックとリーマンショック時の比較— 報告者: 小枝 淳子(財務省財務総合政策研究所) 討論者: 高見澤 秀幸(中央大学)	Financial Literacy and Mutual Funds in Japan 報告者: 阿萬 弘行(関西学院大学) 共著者: 大森 孝造(大阪経済大学)、小川 一仁・本西 泰三(関西大学) 討論者: 國方 明(青森公立大学)	On the Economic Benefit of the Small-return Predictability in Asset Pricing Models 報告者: 佐々木 洋(みずほ第一フイナンシャルテクノロジー) 討論者: 高岡 浩一郎(中央大学)	同族企業のブランド戦略: 商標権ポートフォリオデータを用いた実証分析 報告者: 竹原 均(早稲田大学) 共著者: 海老原 崇(武蔵大学) 討論者: 坂和 秀晃(名古屋市立大学)	株価指数連動型 ETF 構成銘柄の流動性 報告者: 太田 亘(大阪大学) 討論者: 芹田 敏夫(青山学院大学)	ESG/Green Investment and Allocation of Portfolio Assets Speaker: Naoyuki Yoshino [吉野 直行](Keio University/GRIPS) Co-author: Tomonori Yuyama [湯山 智教] (Financial Services Agency) Discussant: Tokuo Iwaisako [祝迫 得夫] (Hitotsubashi University)

	会場G
9:15~12:10	<ジュニアセッション> 座長: 大橋 和彦(一橋大学)
9:15~9:35	カルマンフィルタを用いた国債ポートフォリオの相対価値戦略 ~Dynamic Nelson-Siegel モデル・Affine 期間構造モデルによる実証~ 報告者: 城川 寛明(アセットマネジメント One/一橋大学)
9:35~9:55	マルコフ・スイッチング・ダイナミック・非対称トコピュラを用いた本邦株式市場の依存構造に関する研究 報告者: 夷藤 翔(ニッセイアセットマネジメント/筑波大学)
9:55~10:05	メンターコメント メンター: 西出 勝正(一橋大学)
10:05~10:10	Q&A
休憩	
10:15~10:35	Time-Varying Risk Attitude and Behavioral Asset Pricing 報告者: 早木 祥夏(神戸大学)
10:35~10:55	ETF Ownership and Underlying Volatility: Public vs Private (Presentation in English) Speaker: Cadamuro Leonardo (Hitotsubashi University)
10:55~11:05	メンターコメント メンター: 大橋 和彦(一橋大学)
11:05~11:10	Q&A
休憩	
11:15~11:35	リスク資産の保有行動に関する実証分析 ~MBA 学生はリスクテイクカーなのか~ 報告者: 千葉 雅弘(アムンディ・ジャパン/早稲田大学(執筆時))
11:35~11:40	メンターコメント メンター: 高橋 大志(慶應義塾大学)
11:40~12:10	Q&A

	招待講演&実務家・研究者による最新トピック報告・パネル討論
	<招待講演>オルタナティブデータによるファイナンス研究の新潮流 座長:本多 俊毅(一橋大学)
13:20~14:50	<p>「定性情報と企業価値」 講師:三輪 宏太郎 氏(九州大学経済学研究院 准教授)</p> <p>「リサーチテーマとしてのビッグデータと機械学習」 講師:宮川 大介 氏(一橋大学経営管理研究科 准教授)</p> <p>(概要) 近年のファイナンス研究は、テキスト・データ等の解析やビッグデータを用いた機械学習を実施することで、主に株価データや企業財務データを利用した伝統的な研究では提示しえなかった新たな知見を生み出しつつある。一方で、これらのオルタナティブ・データの分析には一定のスキルが必要であり、さまざまな注意点もある。本招待講演では、オルタナティブ・データの分析経験を豊富に持つ二名の講師を迎え、今後どのようなテーマの研究が期待されるか、研究に着手するにあたってどのような準備が必要か、などについて講義および議論をする予定です。</p>
	<実務家・研究者による最新トピック報告・パネル討論>オルタナティブデータと機械学習が拓く新たなファイナンス実務と研究 <u>※特別公開セッション(会員でない方も事前申込で聴講可能です)</u> 座長:伊藤 敬介(みずほ第一フィナンシャルテクノロジー)
15:10~15:15	当セッションの目的・背景のご紹介
15:15~15:50	<p>講演1(質疑応答5分を含む) 「機械学習・AIの技術的進展と最新事例の紹介」 講師:中田 和秀 氏(東京工業大学経営工学系 准教授)</p>
15:55~16:30	<p>講演2(質疑応答5分を含む) 「資産運用におけるオルタナティブデータ・機械学習の応用事例とその課題」 講師:岡田 克彦 氏(関西学院大学経営戦略研究科 教授)</p>
16:35~17:30	<p>パネル討論 「ファイナンス実務におけるオルタナティブデータと機械学習の活用可能性」</p> <p>パネリスト: 師岡 勇弥 氏(野村アセットマネジメント) 久木田 徹 氏(三菱UFJトラスト投資工学研究所) 中田 和秀 氏(東京工業大学) 岡田 克彦 氏(関西学院大学)</p> <p>モデレーター: 伊藤 敬介(みずほ第一フィナンシャルテクノロジー)</p>

## 2020年度 日本ファイナンス学会 第2回秋季研究大会委員会 NFA 2nd Fall Conference Committee

大会委員長 (Chair of the 2nd NFA Fall Conference Committee)

井上 光太郎 (Kotaro Inoue)

プログラム委員会 (2nd NFA Fall Conference Committee)

研究セッション委員長 (Chair of the Academic Session) : 内田 交謹 (Konari Uchida)

実務家・研究者連携セッション委員長 (Chair of the Practitioner - Researcher Joint Session) : 伊藤 敬介 (Keisuke Ito)

委員 (Member) :

祝迫 得夫 (Tokuo Iwaisako)、内田 浩史 (Hirofumi Uchida)、太田 亘 (Wataru Ohta)、佐藤 祐己 (Yuki Sato)、白須 洋子 (Yoko Shirasu)